

「日本内視鏡外科学会」理事会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

日 時：2006 年 12 月 5 日（火）

会 場：国立京都国際会館（京都）

出席者：北島政樹（理事長）、谷川允彦（会長）、黒川良望（副会長）、伊熊健一郎、大島伸一、大橋秀一、北野正剛、木村泰三、小西文雄、清水信義、白日高歩、土屋了介、万代恭嗣、東原英二、松本純夫、宮野武（以上、理事）、荒木勤、鈴木博昭、杉町圭蔵（以上、監事）、奥田準二、徳村弘実、宮崎修吉、山本哲久（以上、総会幹事）

委任状：加藤紘之、星合晃、守屋秀繁（以上、理事）、岡田昌義（以上、監事）

1. 前回議事録の件

2006 年 5 月 9 日に開催された前回理事会の議事録について確認された。

2. 名誉会員・特別会員推戴の件

北島政樹理事長より、2005 年 12 月 7 日に開催された評議員会において推戴された下記の特別会員の推戴状授与式が、評議員会において執り行われることが報告された。

<特別会員>

大柳 治正	近畿大学医学部外科学教室
守殿 貞夫	神戸赤十字病院
宗田 滋夫	日生病院
中川 健	(財)癌研究会有明病院
板東 隆文	日本赤十字社医療センター消化器外科
松島 正浩	東邦大学医療センター大橋病院
松田 暉	兵庫医科大学
村井 勝	慶應義塾大学医学部泌尿器科学教室
吉村 博邦	北里大学医学部胸部外科

3. 庶務報告

万代恭嗣理事より前回総会報告後より今回までの会員の推移が下記の通り報告された。

<2005 年 11 月 1 日～2006 年 10 月 31 日>

①会員数（2006 年 10 月 31 日現在）8,438 名

内訳

名誉会員	13 名
特別会員	37 名
評議員	561 名

正会員	7,821 名
賛助会員	6 社
◆新入会	848 名
◆退会	
本人申出	160 名
死亡	4 名

②物故者（敬称略）

伊藤 英明 産業医科大学第一外科
七部 幸宏 岸和田徳洲会病院
成毛 韶夫 東京都済生会中央病院
野田 進士 聖マリア病院

4. 編集委員会報告

北島政樹主幹より、本年発行の第 11 巻の特集内容と論文採択率が下記の通り報告された（但し、下記の集計は 2006 年 10 月 23 日現在、2005 年 11 月～2006 年 9 月の編集会議にて審査されたものまでとなっている）。

- 1) 総投稿数 86 本
(原著 10, 症例報告 63, 手術手技 3, 私の工夫 10, その他 2)
- 2) 総採用数 62 本
(原著 10, 症例報告 42, 手術手技 2, 私の工夫 8, その他 0)
- 3) 総返却数 24 本
(原著 0, 症例報告 21, 手術手技 1, 私の工夫 2, その他 0)
- 4) 採用率 72.1% (総平均)
(原著 100%, 症例報告 66.7%, 手術手技 66.7%, 私の工夫 80.0%, その他 n/a)
- 5) 投稿（採用決定）から掲載までの平均期間 8.2 ヶ月
(原著 6.5 ヶ月, 症例報告 8.4 ヶ月, 手術手技 7.5 ヶ月, 私の工夫 7.8 ヶ月, その他 n/a)

5. 倫理・渉外委員会報告

白日高歩委員長遅着により、北島理事長より資料に基づき報告された。医療事故に係わる鑑定人の要請があった場合の手順として、理事長よりの委託に基づき倫理・渉外委員会がアンケート調査により作成した鑑定人データベースに基づき複数の候補者を推薦し、本人の了承を得た後、理事長が推薦することとなった。定款 9 条に規定されている除名・解任処分に関する処分について、文書による意義申し立てとすることとなった。また、第三者評価委員会に対しアドバイザーボードの設置が要請された。

6. 総務委員会報告

伊熊健一郎委員長より、日本医学会に加盟したこと、役員として評議員：北島政樹理事長、連絡委員：東原英二理事、用語委員：黒川良望理事、用語代委員：寺地敏郎評議員が決定され、日本医学会に連絡したことが報告された。また、日本医学会よりの「今後の検討事項について」のアンケートに回答したことが報告された。

7. 教育委員会報告

黒川良望委員長より委員会にて、以下の件について検討されたことが報告され、議論があった。

①本年の教育セミナー実施状況が報告された。

②公認研究会・後援講習会の公認・後援状況について報告された。公認研究会については、公認時のままの情報もあり情報が不備であるので、改めて調査を行うこととなった。

③「内視鏡下結紮・縫合手技講習会」を本年は計 14 回開催したことが報告された。

④用語集の改訂について、改訂作業を進めているが冊子としての刊行に対し出版社の協力が得にくいため、ホームページ上での公開も含めて検討中である。

8. 学術委員会報告

北野正剛委員長より、第 8 回アンケートの調査結果について順調に完了し学会誌第 11 巻第 5 号に掲載されたことが報告された。

また、三学会合同委員会（日本肥満学会、日本消化器内視鏡学会、本学会）の活動を学術委員会の職掌とすること、また、本学会として胃バイパス手術に関する見解を出すこととなった。

9. 保険委員会報告

小西文雄委員長より、評議員へのアンケートを基に、外保連に 6 項目の要望（新設：5 項目、材料：1 項目）を提出したことが報告された。その内 4 項目について本委員会で申請書を作成したこと、また同一手術野における複数手術の加算要望に関するアンケートに回答したことが報告された。

10. 規約委員会報告

大島伸一委員長より、前回 5 月 9 日に開催された理事会において承認された第 6 案を評議員会に答申することが報告された。倫理・渉外委員会よりの規約変更の要望に関しては、今後改訂し承認することになった。

11. 国際委員会報告

万代恭嗣委員長より各関連国際学会の状況、IFSES の活動状況について報告された。

① IFSES 理事会

- ・2010 年世界大会開催地が Washington DC（米国）に決定した。
- ・Secretary / Treasurer である Dr. Birkett が退任し、後任に山川達郎名誉会長が選出された。
- ・アフリカに対する内視鏡外科手術に関する支援について Udwadia 理事長より要請があった。今後は本学会としても十分に調査した上で協力できることをする。

② 関連国際学会

<国内開催学会>

①ISGE：2007 年 3 月 17 日～21 日・大阪国際会議場（大阪）

会長：星合 昊（近畿大学医学部産婦人科）

※日本産科婦人科内視鏡学会と共催

②SMIT：2007 年 11 月 20 日～22 日・仙台国際センター（宮城）

会長：金平 永二（四谷メディカルキューブきずの小さな手術センター）

※第20回日本内視鏡外科学会総会と同時開催（＋¥5,000－で参加登録可）

③11th World Congress of Endoscopic Surgery

2008年9月2日～6日・パシフィコ横浜（神奈川）

会長：北野 正剛（大分大学医学部第一外科）

※ELSA 2008 会長：田尻 孝（日本医科大学外科学講座）と同時開催

※第21回日本内視鏡外科学会総会と共催

<関連国際学会>

①世界内視鏡外科学会総会 第11回：2008年9月2日～6日・横浜（日）

※第21回本学会総会と共催，ELSA 2008 と同時開催

②SAGES 2007：2007年4月19日～22日・ラスベガス（NV）

SAGES 2008：2008年4月9日～12日・フィラデルフィア（PA）

③EAES 第15回：2007年7月4日～7日・アテネ（ギリシャ）

③SAGES との Joint Symposium について

第20回総会期間中の開催を目指し準備することとなった。

12. 広報委員会報告

守屋秀繁委員長欠席のため，北島理事長より守屋委員長が理事退任されるため次期委員長として出沢明次期理事が推挙されていることが報告された。

13. ガイドライン委員会報告

谷川允彦委員長より，ガイドライン作成作業を進めるため，本年度に4回の幹事委員会を開催し，この幹事委員を中心に関連領域ごとに構造化抄録，ガイドライン文案が作成されていることが報告された。

また，今後の予定として今総会中に幹事委員，協力委員，評価委員に出席いただいて拡大委員会を開催する。ガイドラインの完成は来春頃を予定し，パブリック・コメントを求めた後に刊行される予定である。

14. 将来構想委員会報告

松本純夫委員長より，以下の通り報告された。

①コメディカル会員制度（仮称）について

コメディカル：¥5,000－，学生：¥3,000－とする

②患者満足度調査について

国立保険医療科学院と協力しつつパイロットスタディの準備を進めている。この活動に掛かる費用は委員会費から支出する。

③法人化について

法律の整備に従い，適切な時期に行う。

15. 第三者評価委員会報告

宮野武委員長より，委員会の役割について，事故が起こった場合の外部委員の派遣，厚労省安全対策推進室との協力，メディアへの対応などがあり，宮野委員長退任後も活動していく。

16. 技術認定制度委員会報告

木村泰三委員長より、技術認定制度について以下のように報告された。

①副委員長として松田公志委員が推挙され、承認された。

②2006 年までの技術認定実施状況が報告された。

泌尿器科：2006 年度の応募総数は 130 名。JSES への申請者は 57 名。

産婦人科：2005 年度の応募総数は 42 名。JSES への申請者は 13 名。

整形外科：2006 年度の応募総数は 26 名。JSES への申請者は 2 名。

消化器・一般外科：2006 年度の応募総数は 217 名、現在審査中である。

呼吸器外科：委員の選任を日本呼吸器外科学会に依頼している。

小児外科：来年度よりの実施を目指し準備中である。

③泌尿器科、産婦人科、整形外科領域の申請者について提示され、全員を技術認定取得者として承認することが承認された。

④消化器・一般外科領域について、審査委員の増員が提議され、承認された。

⑤委員の更新時期に当たるので、理事長より各関連領域に委員の選任を依頼することとなった。

17. 日本医学会の件

北島理事長より、日本医学会助成金の交付を契機として、日本医師会との関係性に問題があるのではないかという意見が日本医学会の特に臨床系の学会より出されたことを受け、本学会でも助成金交付を保留したことが説明された。また、今後について臨床系学会の連絡会議などに参加し、各学会と協力していくこととなった。

18. 伊藤賞の件

本年度の受賞者が北島政樹編集主幹より報告された。授与式は昨年と同じく評議員会にて行われる。

太田 正之（大分大学医学部第一外科）

「本邦における高度肥満患者に対する胃内バルーン留置術と腹腔鏡下胃バンディング術の導入」
（日鏡外会誌 第 11 巻第 5 号）

19. 大上賞の件

学術賞委員会土屋了介委員長が欠席のため北島理事長より土屋委員長からの選考規約が提示され、承認された。

また、承認された規約に従い、以下の委員が選出され（以下の 6 名と会長、副会長）承認された。

委員長 土屋 了介（呼吸器外科領域）

委員 渡邊 昌彦（消化器外科領域）

明楽 重夫（産婦人科領域）

松田 公志（泌尿器科領域）

出沢 明（整形外科領域）

森川 康英（小児外科領域）

20. カールストルツ賞の件

本年度の受賞者が谷川允彦会長より報告された。授与式が評議員会で行われることとなった。

- 1) 國場 幸均 (北里大学東病院消化器外科)
- 2) 杉本 真樹 (帝京大学市原病院外科)

21. 第 19 回総会について

谷川允彦会長より、第 19 回総会について報告された。

会長：谷川 允彦 (大阪医科大学一般・消化器外科)

日程：2006 年 12 月 5 日 (火) ～7 日 (木)

会場：国立京都国際会館

22. 第 20 回総会について

黒川良望副会長より、第 20 回総会の準備状況が報告された。

会長：黒川 良望 (東北大学先進医工学研究機構)

日程：2007 年 11 月 19 日 (月) ～21 日 (水)

会場：仙台国際センター, 他 (仙台)

23. 第 21 回総会について

北野正剛理事より、第 21 回総会の準備状況が報告された。

会長：北野 正剛 (大分大学医学部第一外科)

日程：2008 年 9 月 2 日 (火) ～9 月 6 日 (土)

会場：パシフィコ横浜 (横浜)

※第 11 回世界内視鏡外科学会と共催、ELSA 2008 (アジア内視鏡外科学会) と同時開催

24. 2005 年度会計報告

星合昊財務委員長欠席により北島理事長より、2005 年度決算報告がなされ、承認された。

25. 会計監査報告

杉町圭蔵監事より、2005 年度会計の監査報告がなされた。また、北島理事長より次回より会計監査について公認会計士に依頼することが提議され、承認された。

26. 2007 年度予算案について

北島理事長より、2007 年度予算案の提示があった。杉町監事より会員増に伴い増えた会費収入を有意義に利用すべきとの意見があり、協議の結果、現在 300 万円である会長補助金を 1,000 万円に増額し、総会の充実を図ることとなった。また、2006 年度の会長補助金の差額が膨大になることから、補正処置として、予備費 100 万円と事業費の雑費 30 万円と事務費の雑費 20 万円は未支出であるので、第 19 回総会補助金として支出することとなった。

27. 新評議員について

大橋秀一評議員選考委員長より、本年度に寄せられた評議員申請 35 名と選考結果が報告され、審議の結果、以下の 34 名が選出された。

味木 徹夫 神戸大学消化器外科

有田 道典 広島鉄道病院
 岩村 正嗣 北里大学医学部泌尿器科学教室
 打越 史洋 大阪警察病院外科
 奥山 宏臣 大阪府立母子保健総合医療センター
 小島 康知 広島大学大学院内視鏡外科学
 小田 齊 佐田厚生会佐田病院
 亀山 哲章 社会福祉法人親善福祉協会国際親善総合病院
 河内 明宏 京都府立医科大学大学院医学研究科泌尿器機能再生外科学
 白部多可史 医療法人社団幸隆会多摩丘陵病院
 関川 浩司 川崎幸病院
 高金 明典 岩手医科大学第一外科
 田川 努 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科腫瘍外科
 辰巳 明利 医療法人春秋会 城山病院
 辻谷 俊一 鳥取大学医学部病態制御外科
 遠山 洋一 東京慈恵会医科大学附属柏病院外科
 登内 仁 三重大学大学院医学系研究科病態修復医学講座先端的外科技術開発学
 富川 盛雅 福岡市民病院
 豊川 晃弘 淀川キリスト教病院外科
 猶本 良夫 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科消化器・腫瘍外科学
 中村 昭博 長崎大学附属病院
 中村 慶春 日本医科大学附属病院
 西井 修 帝京大学医学部附属溝口病院
 袴田 健一 弘前大学医学部外科学第二講座
 林 秀樹 千葉大学フロンティアメディカル工学研究開発センター
 春田 直樹 仁鷹会たかの橋中央病院
 藤澤 正人 神戸大学大学院医学系研究科腎泌尿器科学分野
 村田 幸平 市立吹田市民病院外科
 安田 一弘 大分大学第1外科
 安田 健司 国保直営串本病院
 横山 隆秀 昭和伊南総合病院
 四津 良平 慶應義塾大学医学部外科（心臓血管）
 若林 剛 岩手医科大学外科学講座
 和田 則仁 慶應義塾大学医学部外科学教室一般・消化器外科

また、申請要件の変更について以下の通り提議され、承認された。

- ①会員歴を7年以上とする。
- ②「業績目録」について内視鏡外科に関する筆頭論文1編を含む5編以上とする。
- ③異なる施設の評議員の推薦とは、同施設の場合異なる科であることとする。

28. 新理事会構成の件

前回理事会において決定された、以下の通りの新理事会構成を評議員会に答申する。

理事長 北島 政樹 慶應義塾大学医学部外科

会 長	黒川 良望	東北大学先進医工学研究機構高度情報通信分野
副会長	北野 正剛	大分大学医学部第一外科
理 事	伊熊健一郎	健保連大阪中央病院婦人科
	大島 伸一	国立長寿医療センター
	大橋 秀一	健保連大阪中央病院
	木村 泰三	富士宮市立病院
	小西 文雄	自治医科大学附属大宮医療センター外科
	白日 高歩	福岡大学医学部第二外科
	谷川 允彦	大阪医科大学一般・消化器外科
	土屋 了介	国立がんセンター中央病院
	出沢 明☆	帝京大学溝口病院整形外科
	万代 恭嗣	社会保険中央総合病院外科
	東原 英二	杏林大学医学部泌尿器科
	星合 昊	近畿大学医学部産科婦人科学教室
	松本 純夫	独立行政法人国立病院機構東京医療センター
	森川 利昭☆	東京慈恵会医科大学外科学講座
	森川 康英☆	慶應義塾大学医学部小児外科
	渡邊 昌彦☆	北里大学医学部外科
監 事	加藤 紘之☆	国家公務員共済組合連合会斗南病院
	清水 信義☆	岡山大学副学長
	宮野 武☆	順天堂大学医学部付属練馬病院

☆＝2007年1月1日より新規就任予定の役員

29. 名誉会員・特別会員推戴の件

下記の評議員が特別会員に推挙され、満場一致で承認された。

<名誉会員>

荒木 勤	日本医科大学
岡田 昌義	加古川総合保健センター
杉町 圭蔵	公立学校共済組合九州中央病院
鈴木 博昭	東京慈恵会医科大学客員教授
炭山 嘉伸	東邦大学医学部外科学第三講座
守屋 秀繁	千葉大学医学部整形外科

<特別会員>

小川 由英	琉球大学医学部泌尿器科
長田 博昭	聖マリアンナ医科大学呼吸器外科
加藤 治文	東京医科大学外科第一講座
熊井浩一郎	慶應義塾大学病院内視鏡センター
小林 紘一	慶應義塾大学医学部外科
佐々木睦男	弘前大学医学部消化器外科
高橋 俊毅	国立病院機構横浜医療センター外科
鶴丸 昌彦	順天堂大学医学部上部消化管外科学

30. その他

北島政樹理事長より，以下の通り提議され協議された．

- ①「行政処分を受けた医師に対する再教育」について厚生労働省より教育プログラム提出の要望があったことが説明され，今後教育委員会において動物を使った技術講習会のプログラムを作成し提出することとなった．
- ②日本外科系学会連合より本学会専門医習得に関する学術集会参加単位に加えてほしいという要望があったことが説明されたが，本学会の認定制度は専門医制度ではなく技術認定制度であり，学術集会参加単位を設けていないため，不可能と回答することになった．
- ③第 22 回総会会長について（2009 年）
北野正剛理事より小西文雄理事が推薦され，全会一致で承認された．
小西理事より挨拶された．

2007 年 2 月 15 日

「日本内視鏡外科学会」評議員会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

日時：2006 年 12 月 5 日（火）18：00～19：30

会場：国立京都国際会館（京都）

評議員会においても，理事会における報告事項並びに審議事項が変更・修正なく承認されたので，議事録は理事会議事録をもってあて，省略する．

以上

日本内視鏡外科学会技術認定合格者（泌尿器腹腔鏡）

有馬 公伸（三重大学）	滝内 秀和（西宮市立中央病院）
庵谷 尚正（仙台社会保険病院）	武田 克治（香川県立中央病院泌尿器科）
伊勢田 徳宏（松山市民病院泌尿器科）	田丁 貴俊（松山赤十字病院泌尿器科）
市丸 直嗣（大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学泌尿器科）	種田 倫之（康生会武田病院泌尿器科）
伊藤 敬一（防衛医科大学校泌尿器科学講座）	辻畑 正雄（大阪大学医学部泌尿器科）
伊藤 文夫（東京女子医科大学）	鶴 信雄（新都市クリニック）
井上 啓史（高知大学医学部泌尿器科）	戸澤 啓一（名古屋市立大学大学院医学研究科腎・泌尿器科学分野）
植田 健（千葉県がんセンター泌尿器科）	戸辺 豊総（済生会宇都宮病院泌尿器科）
大城 吉則（琉球大学医学部泌尿器科）	長野 正史（宮崎大学医学部泌尿器科）
岡 裕也（奈良社会保険病院泌尿器科）	中村 晃二（修賢会 藤崎病院）
小湊 隆英（横浜労災病院）	那須 保友（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科泌尿器病態学）
小川 修（京都大学附属病院泌尿器科）	西村 健作（大阪労災病院）
奥野 博（独立行政法人国立病院機構京都医療センター泌尿器科）	原林 透（北海道大学病院）
桶川 隆嗣（杏林大学医学部附属病院泌尿器科）	本多 正人（大阪警察病院泌尿器科）
鬼塚 史朗（東京女子医科大学附属成人医学センター）	舛森 直哉（札幌医科大学泌尿器科）
寛 善行（香川大学医学部泌尿器科）	町田 二郎（済生会熊本病院）
絹川 常郎（社会保険中央病院）	松川 雅則（NTT 東日本札幌病院）
工藤 真哉（聖隷浜松病院泌尿器科）	松下 和弘（高知高須病院）
工藤 大輔（岩手医科大学泌尿器科）	松原 昭郎（広島大学大学院医歯薬学総合研究科腎・泌尿器科学）
車田 茂徳（新潟大学大学院医歯学総合研究科腎泌尿器病態学分野）	三木 恒治（京都府立医科大学大学院医学研究科泌尿器機能再生外科学）
桑原 朋広（熊本市市民病院）	宮川 康（大阪大学医学部泌尿器科）
小林 泰之（岡山大学医学部附属病院）	安井 孝周（名古屋市立大学大学院医学研究科腎・泌尿器科学分野）
近藤 幸尋（日本医科大学泌尿器科）	柳瀬 雅裕（砂川市立病院泌尿器科）
斉藤 誠一（芸術の森泌尿器科）	山田 泰（福岡赤十字病院泌尿器科）
坂下 茂夫（帯広厚生病院泌尿器科）	山田 裕二（兵庫県立尼崎病院泌尿器科）
佐藤 信（医療法人寶樹会仙塩総合病院）	山本 秀和（福井県済生会病院）
七里 泰正（津山市民病院泌尿器科）	横溝 晃（九州大学病院泌尿器科）
島 正則（東海大学）	吉岡 俊昭（（財）住友病院）
高橋 悟（日本大学医学部泌尿器科学講座）	

日本内視鏡外科学会技術認定合格者（産科婦人科）

梅本 雅彦（近畿大学医学部附属病院）	福原 正生（国家公務員共済連合会浜の町病院）
岸 郁子（東京都済生会中央病院）	藤井 俊策（弘前大学医学部産婦人科学教室）
楠本 知行（津山中央病院産婦人科）	増澤 秀幸（ひろおかさくらレディースウィメン ズクリニック）
五味淵秀人（国立国際医療センター病院産婦人科）	山崎 英樹（出水総合医療センター）
鈴木 隆弘（東海大学医学部附属病院）	梁 義光（帝京大学ちば総合医療センター産婦 人科）
妹尾 大作（松山赤十字病院産婦人科）	
田中 雄大（医療法人社団慈広会矢崎病院）	
平吹 信弥（石川県立中央病院）	

日本内視鏡外科学会技術認定合格者（整形外科）

長谷川 徹（川崎医科大学整形外科）
平泉 裕（昭和大学医学部整形外科学教室）